

10月18日は『統計の日』

統計から見た！

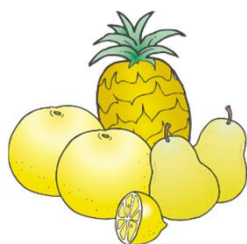
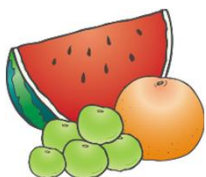
九州の農林水産業



令和8年10月

目次

1	10月18日は『統計の日』	10	麦の生産状況
2	農林水産統計今昔	11	主な野菜の産出額
3	農林水産統計の役割	12	主な果実の産出額
4	農業構造（農業経営体）	13	畜産の産出額
5	農地の利用状況	14	ジビエ（野生鳥獣肉）
6	農業産出額の特徴	15	林業の概要
7	農業産出額の推移	16	漁業の概要
8	市町村別の農業産出額	17	使ってみました 地域の農業を見て・知って・活 かすDBの活用事例
9	米の生産状況		



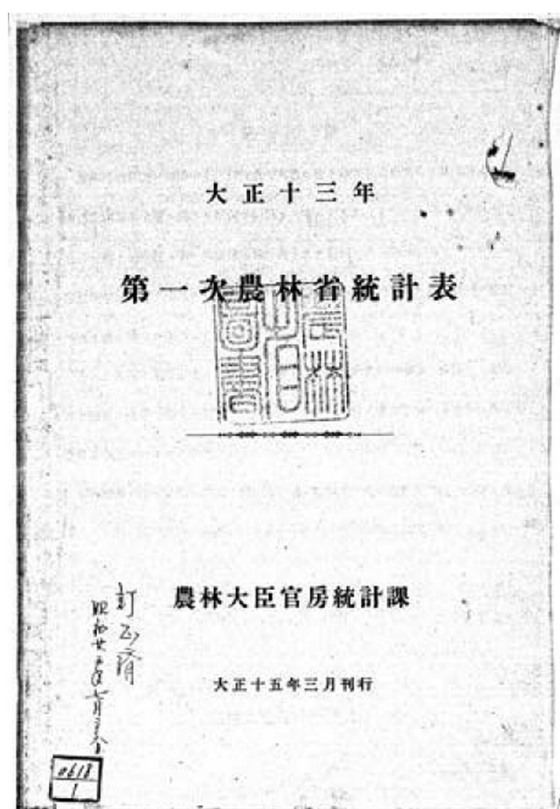
10月18日は『統計の日』

「統計の日」は、国民の皆さまに、統計調査の重要性への関心と理解を深め、調査へのより一層のご協力をいただくため、政府によって昭和48年(1973年)7月3日に定められました。

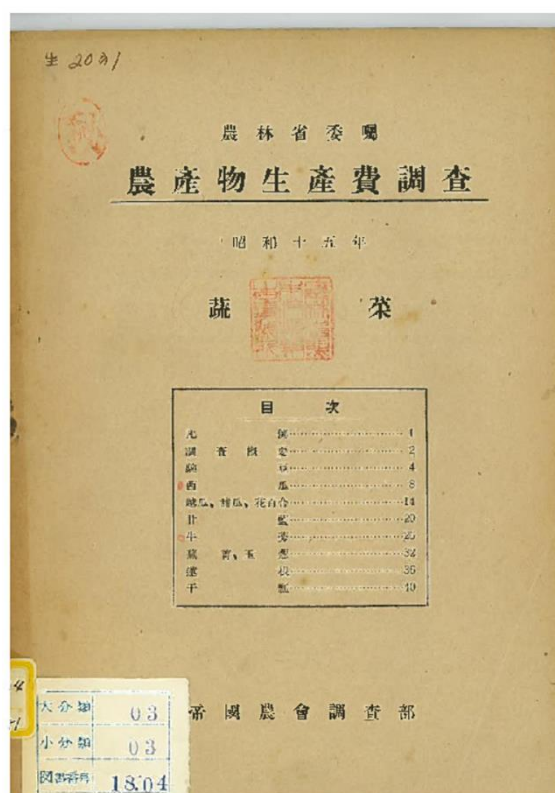
★「統計の日」の由来

明治3年9月24日(1870年10月18日)に、日本で初めての近代的生産統計である「府県物産表」(農林水産物と鉱工業生産物の生産高をまとめたもの)の太政官(だじょうかん)布告が公布された日に由来しています。

■ 第一次農林省統計表(大正13年) ■



■ 農産物生産費調査(昭和15年) ■



左は、大正15年(1926年)に農林水産省(当時、農林省)で発刊された大正13年(1924年)結果の統計書です。その後、毎年、各種農林水産統計データを掲載した「農林水産省統計表」を作成しています。

右は、九州農政局に保管されている最も古い統計書です。昭和15年(1940年)に発刊された「農産物生産費調査 蔬菜(そさい)」で、「すいか」、「ごぼう」などを生産するために要した費用が掲載されています。



農林水産統計今昔

■ 昭和15年農産物生産費調査(雑穀) ■

九州農政局で保管されている最も古い統計書(昭和15年農産物生産費調査(雑穀))です。調査対象品目や取りまとめ項目は時代を感じますが、現代とおおむね同じ項目になっています。調査方法等は現在の調査方法と異なりますが、当時の農業形態や背景がみえてきます。



面積の単位が「反」(現在は「a」、「ha」)、重さの単位が、「石」(現在は、「kg」、「t」)となっています。
また、価格の単位が円以下(銭)で記載されています。

調査品目「粟(あわ)」や「燕麥(えんぱく)」など、今ではあまり栽培されていない作物も当時は調査していたようです。

数量									
品名	単位	数量	単価	生産費	消費費	貯蔵費	運搬費	其他費	合計
大 豆	石	0.87	...	...	...	...	...	...	...
小 豆	石	...	...	...	...	...	...	...	...
粟	石	...	...	...	...	...	...	...	...
燕麥	石	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

畜役費									
品名	単位	数量	単価	生産費	消費費	貯蔵費	運搬費	其他費	合計
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

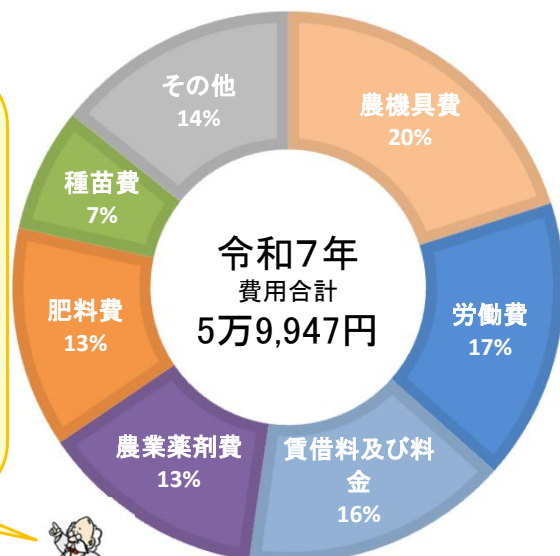
調査項目は、「種苗費」、「肥料費」、「薬剤費」など今の調査でも使用している項目もあるけど、「畜役費」なんて項目もあるようです、今は「農機具費」ですね。

資料：帝国農会調査部「作物統計」昭和17年11月発行

■ 現在の調査結果と比較 ■



昭和15年では、「家族労働費」が約4割を占めていますが、令和7年の「労働費」は約2割と半減しています。
それに変わって、作業委託費の「賃借料及び料金」が増加しています。
また、「畜役費」に変わって「農機具費」の割合が多くなっています。



()の額は、大学卒初任給で試算
昭和15年 80円
↓(約3,300倍)
令和7年266,000円

※ 昭和15年の調査は、現在(令和7年)の調査方法とは異なることから、単純に比較は出来ませんが参考として掲載しています。
また、年内給生産要素費用から、費用合計に含まれない資本利子を除くと 25.55円(8万4,315円)となります。

農林水産統計の役割

農林水産統計は、農林水産行政を支える「情報インフラ」として、食料・農業・農村基本計画等の各種計画に基づく政策目標の設定や評価、各種作物の需給安定対策等の発動基準、国の財政支出の算定根拠、農林水産業の現状の分析などに広く活用されています。

また、「公共財」としての役割を担っており、国民の皆さんが自由に利用することができます。

公共財としての農林水産統計

日本の農林水産業の実態はどうなっているの？

自給率が低くても大丈夫？
今年のコメは不作なの？

農業の課題はなに？
農業経営体数や農地などの状況は？

生産だけの経営から、
製造加工・販売を加えた事業展開が増えているのかな？



• どんな農畜産物が作られているの？
• 農地はどのくらいあるの？

• 農業経営体の数はいくつ？
• 農業従事者の平均年齢は？
• 森林の面積は？

• 農産物を生産するのにいくらかかるの？
• 農業の収入はどのくらい？

• 6次産業化は進んでいるの？
• 売上げや従事者数はどのくらい？

誰でも利用できるよ、農林水産統計を見てみよう！

◆作物統計調査(R7年、九州)

耕地面積 : 498,000 ha
耕地利用率 : 101.8%(R6年)
水稻収穫量 : 767,400t
水稻10a当たり収量 : 513 kg

◆畜産統計調査

(R8年2月1日現在、九州)

肉用牛 飼養戸数 : 13,800戸
飼養頭数 : 901,400頭

◆農林業センサス(2025年、九州)

農業経営体 : 131,378経営体
基幹的農業従事者数 : 171,538人
基幹的農業従事者平均年齢 : 66.3歳

林野面積 : 2,677,426ha
林野率 : 63.4%

◆農業経営統計調査(R6年、九州)

営農類型別経営統計
(全営農類型平均1農業経営体当たり)
農業所得 : 1,834千円
米生産費
(個別経営資本利子・地代全額算入生産費)
60kg当たり生産費:16,481円

◆生産農業所得統計(R6年、九州)

農業産出額 : 2兆445億円

◆6次産業化総合調査(R6年度、九州)

農業生産関連事業
総販売金額 : 4,390億円
総従事者数 : 6万2,400人

漁業生産関連事業 ※九州各県の合計値
総販売金額 : 583億円
総従事者数 : 6,400人

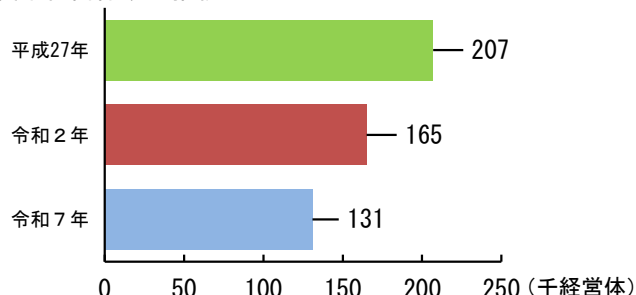


九州の農業

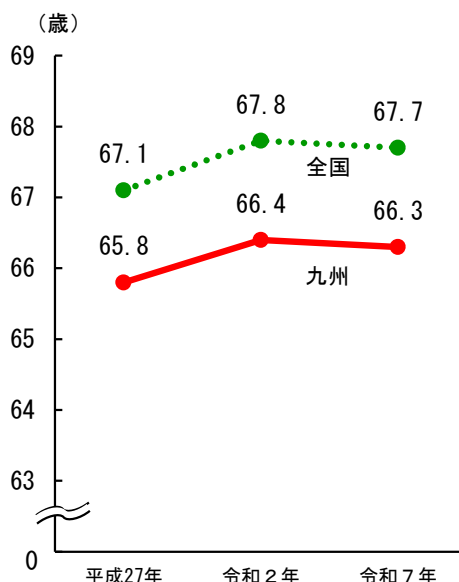
農業構造（農業経営体）

九州の農業経営体数及び基幹的農業従事者平均年齢の推移

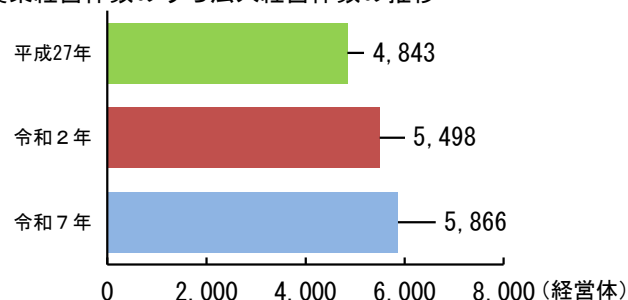
農業経営体数の推移



基幹的農業従事者平均年齢



農業経営体数のうち法人経営体数の推移



資料: 農林水産省「農林業センサス」

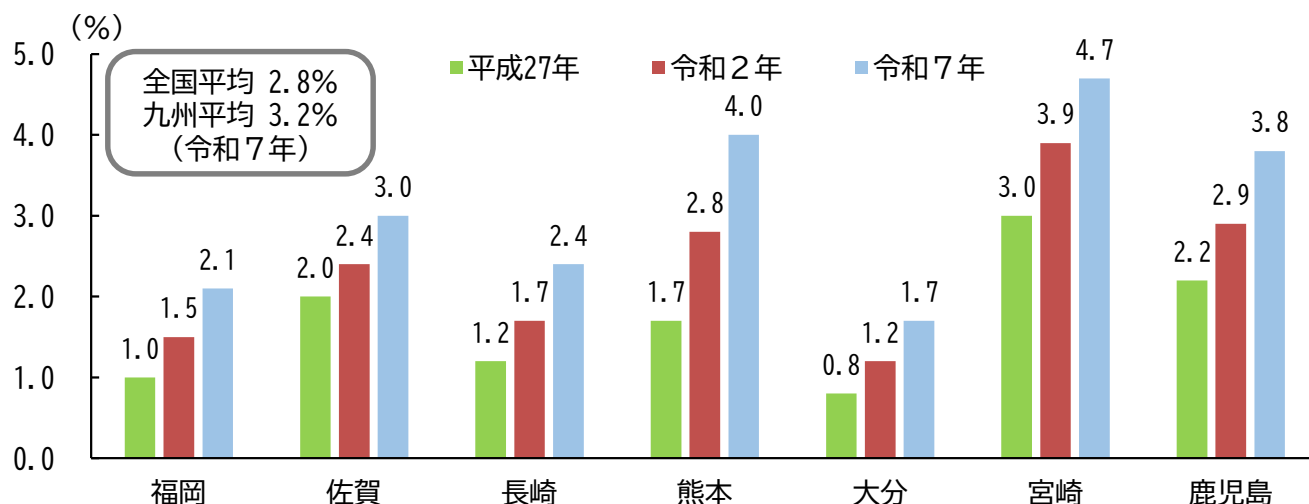
- 注: 基幹的農業従事者 15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。
 基幹的農業従事者平均年齢 平成27(2015)年は販売農家の数値、令和2(2020)年、令和7(2025)年は個人経営体の数値。
 農業経営体 経営耕地面積が30a以上の規模の農業、又は販売金額50万円以上に相当する規模の農業を行う者(農作業の受託を含む。)
 法人経営体 農業経営体のうち、法人化して事業を行う者。

九州における基幹的農業従事者の平均年齢は全国に比べ1.4歳若くなっていますが、平均年齢は66歳を超え、農業者の高齢化が進んでいます。また、農業経営体数は131千経営体であり、10年前に比べて約4割減少しましたが、法人化している経営体は1.0千経営体（21%）増加しています。

また、九州各県では農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合が増加しており、佐賀県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県が全国平均を上回っています。



農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合



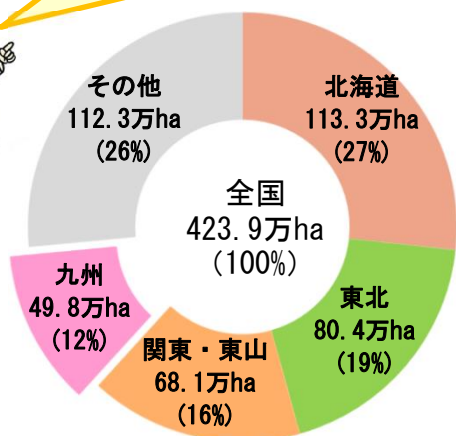


九州の農業

農地の利用状況

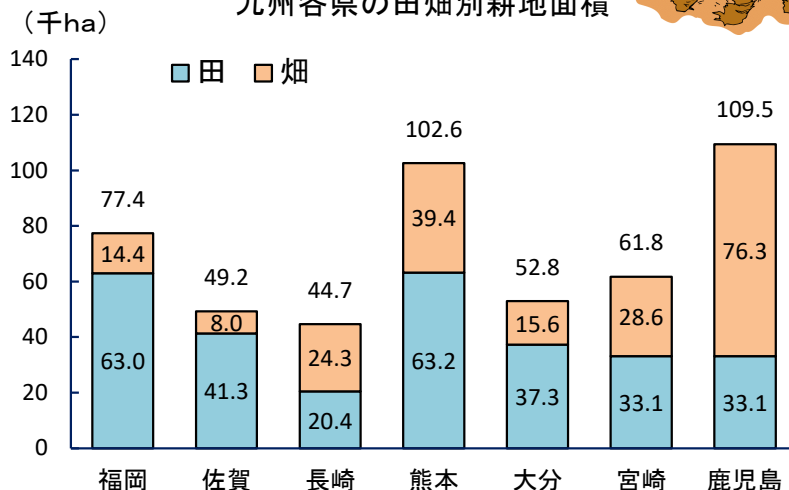
■ 全国と九州の耕地面積(令和7年) ■

九州の耕地面積は約49.8万haで、全国の12%を占めています。



注:「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

九州各県の田畑別耕地面積



注:四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合があります。

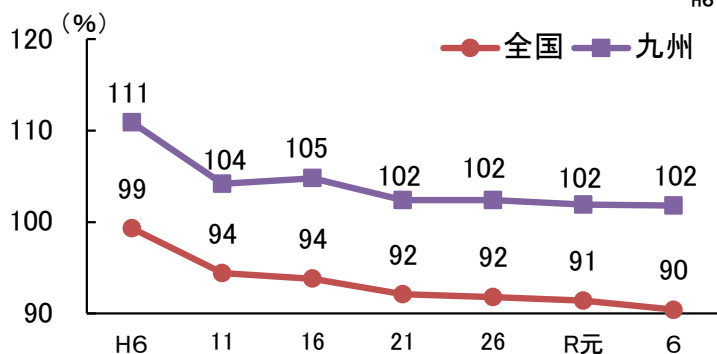
■ 耕地利用率の推移 ■

令和6年の九州の耕地利用率は102%で、全国の90%を大きく上回っています。

県別にみると、佐賀と福岡が高くなっていますが、これは水稲や大豆の後に麦やたまねぎ等の作付けが多く行われていることが主な要因です。

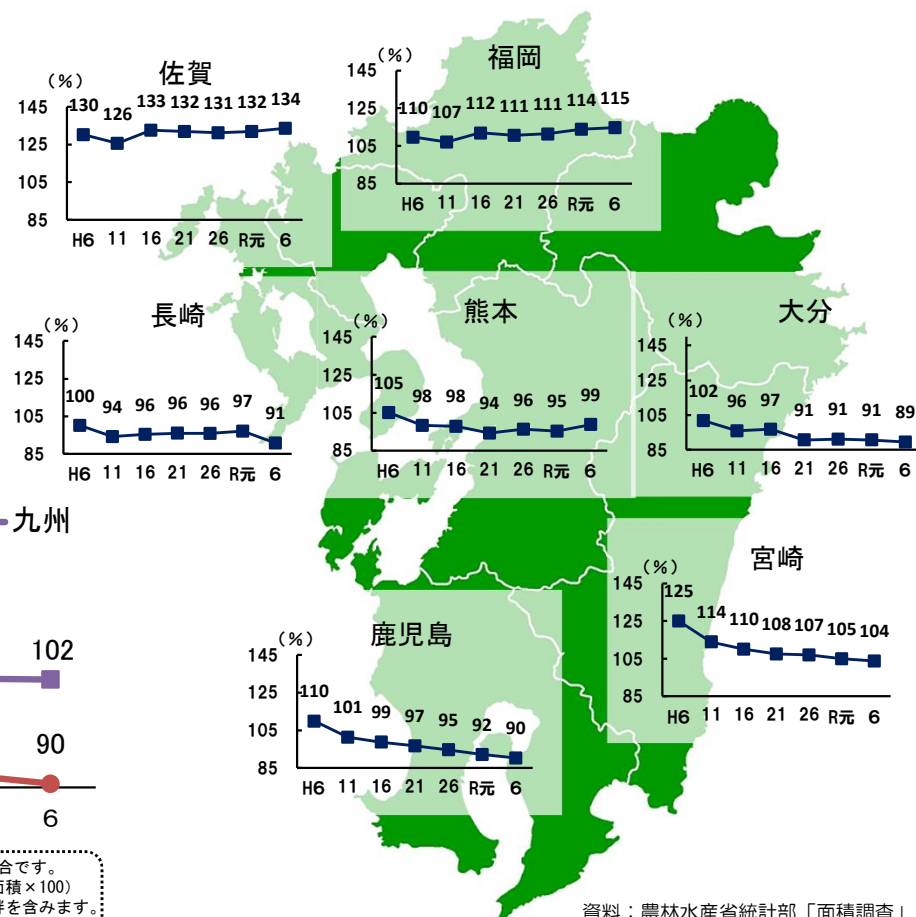


全国と九州の耕地利用率の推移



耕地利用率: 耕地面積を「100」とした作付(栽培)延べ面積の割合です。
 (耕地利用率(%) = 作付(栽培)延べ面積 ÷ 耕地面積 × 100)
 耕地: 農作物の栽培を目的とする土地のことをいい、けい畔を含みます。
 けい 畔: 耕地の一部にあって主として本地の維持に必要なものです。

九州各県の耕地利用率の推移



資料: 農林水産省統計部「面積調査」



九州の農業

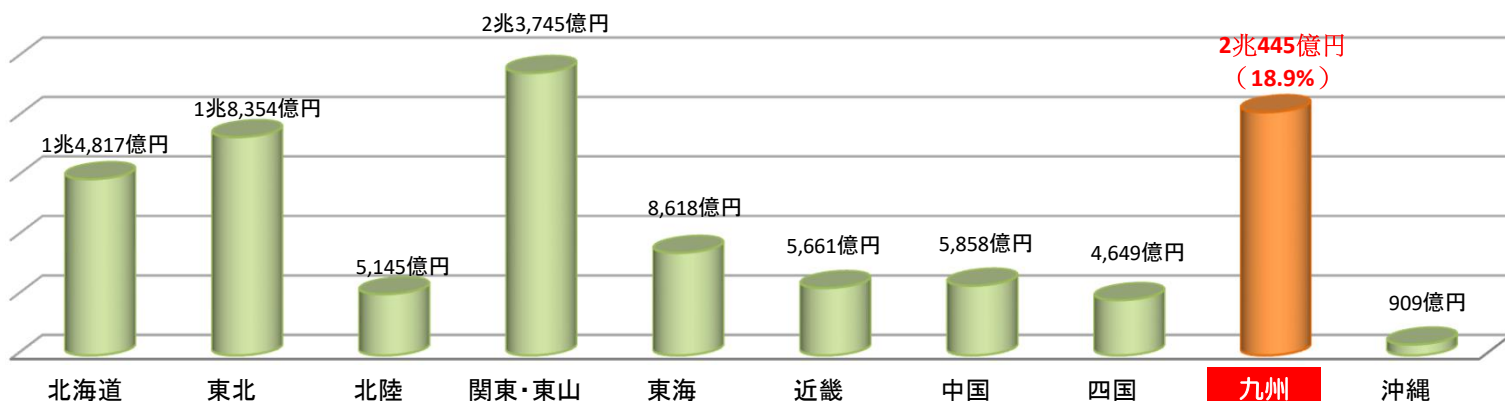
農業産出額の特徴

地域別の農業産出額(令和6年)

☆全国の農業産出額は・・・10兆8,200億円



令和6年の九州の農業産出額は、2兆445億円で全国の約2割を占めており、九州は、関東・東山に次いで大きい地域となっています。



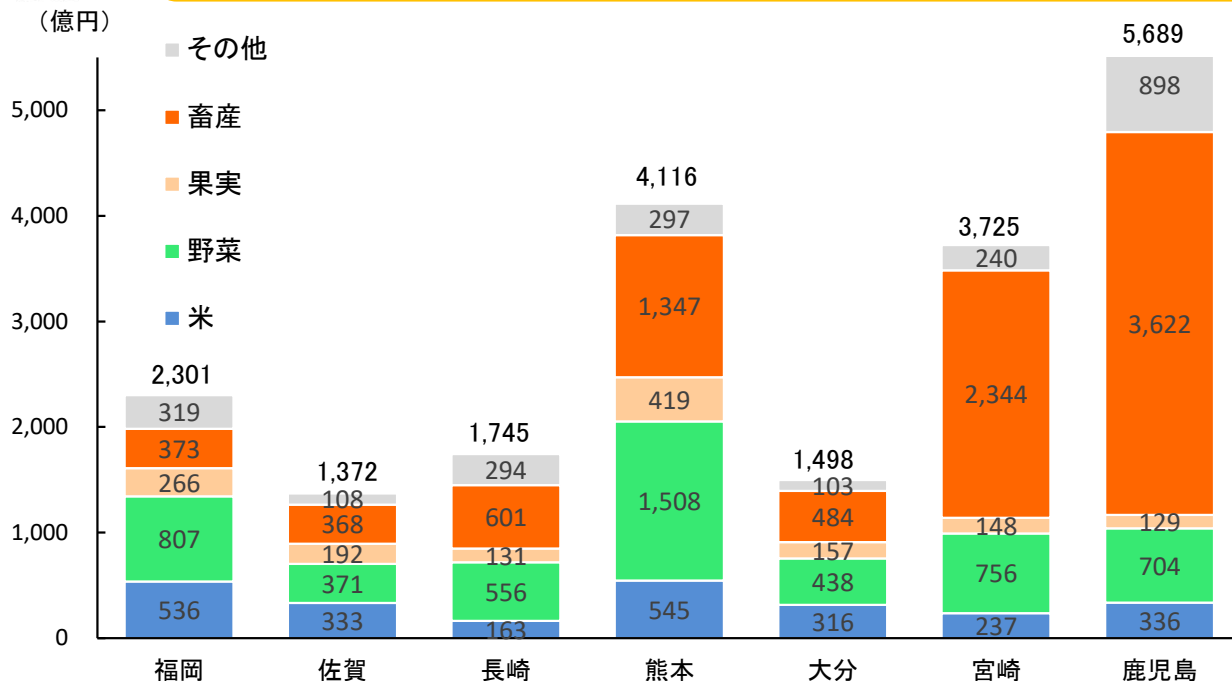
注：1 () は全国に占める九州の割合です。

2 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

九州県別、部門別の農業産出額(令和6年)



九州各県における部門別の農業産出額をみると、畜産が大きな割合を占めており、鹿児島県と宮崎県は6割を超えています。また、施設野菜の生産も盛んなことから、熊本県や福岡県をはじめ、各県の野菜の産出額は大きくなっています。



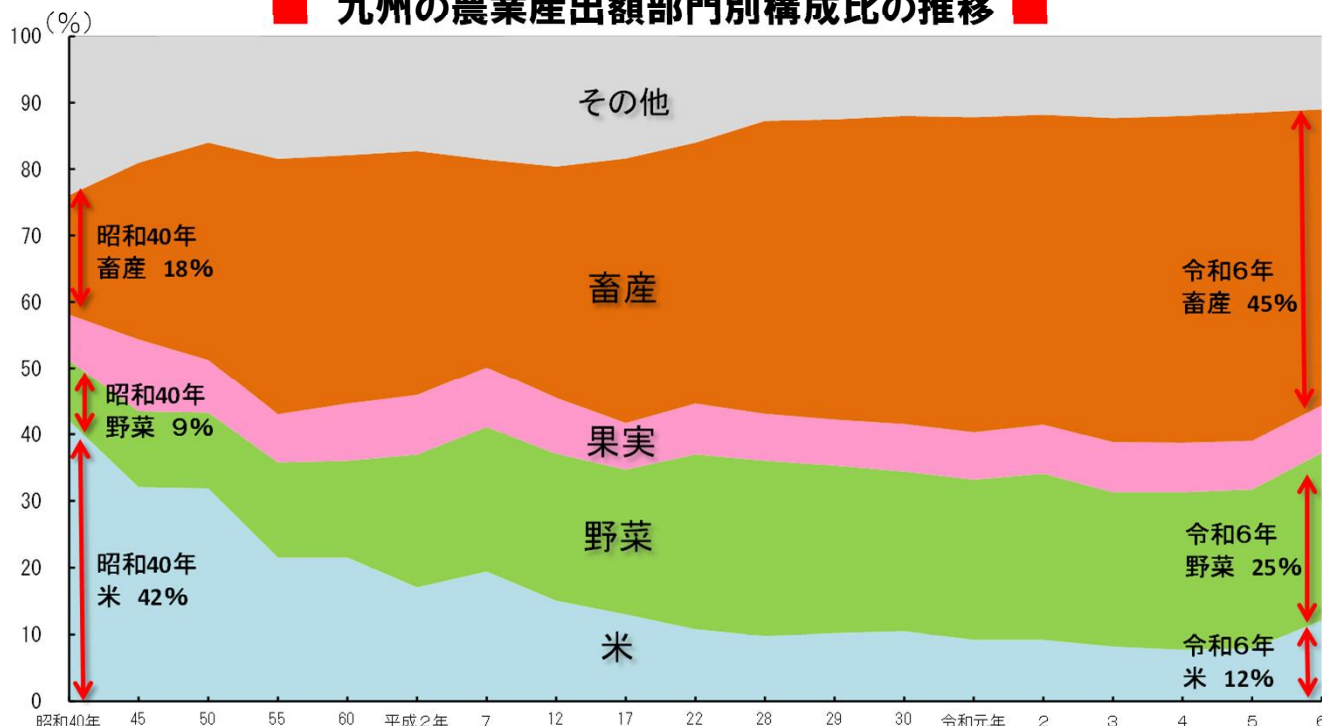
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



九州の農業

農業産出額の推移

九州の農業産出額部門別構成比の推移



九州の農業産出額を部門別構成比でみると、畜産は昭和40年には18%でしたが、令和6年には45%に、野菜は9%から25%と大幅に増加しました。一方、米は42%から12%と大幅に減少し、米を中心とした農業から野菜、畜産を中心とする農業へ推移しています。

その結果、農業産出額の全国上位10県に、昭和40年は九州は1県も入っていませんでしたが、令和6年は、畜産や野菜の生産が盛んな鹿児島県、熊本県、宮崎県の3県がランクインしています。



農業産出額の全国上位10県

単位: 億円

	昭和40 (1965) 年	平成12 (2000) 年	令和 6 (2024) 年
1 位	北海道 2,033	北海道 10,551	北海道 14,817
2 位	茨城 1,330	千葉 4,448	鹿児島 5,689
3 位	新潟 1,274	茨城 4,147	茨城 5,494
4 位	千葉 1,195	鹿児島 4,048	千葉 4,533
5 位	福島 1,063	愛知 3,419	青森 4,119
6 位	静岡 983	熊本 3,358	熊本 4,116
7 位	埼玉 966	新潟 3,141	宮崎 3,725
8 位	長野 954	宮崎 3,128	愛知 3,551
9 位	愛知 886	岩手 2,849	栃木 3,448
10 位	宮城 886	静岡 2,800	岩手 3,269

資料: 農林水産省統計部「生産農業所得統計」

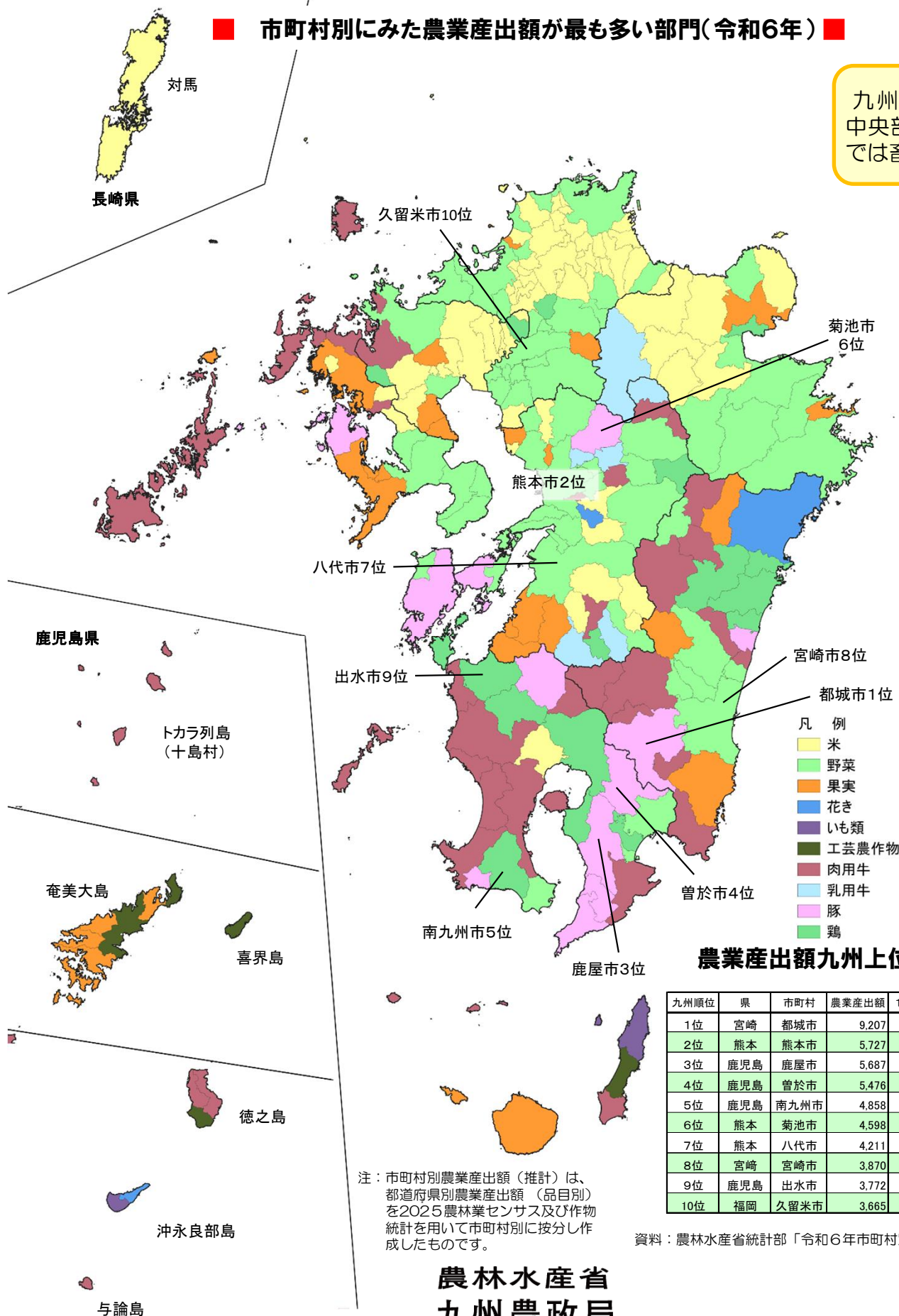


九州の農業

市町村別の農業産出額

市町村別にみた農業産出額が最も多い部門(令和6年)

九州の北部は米作、中央部は野菜作、南部では畜産が盛んです。



- 凡 例
- 米
 - 野菜
 - 果実
 - 花き
 - いも類
 - 工芸農作物
 - 肉用牛
 - 乳用牛
 - 豚
 - 鶏

農業産出額九州上位10市町村

単位: 千万円

九州順位	県	市町村	農業産出額	1位部門	産出額	全国順位
1位	宮崎	都城市	9,207	豚	3,147	2
2位	熊本	熊本市	5,727	野菜	2,957	9
3位	鹿児島	鹿屋市	5,687	豚	1,636	10
4位	鹿児島	曾於市	5,476	豚	1,642	11
5位	鹿児島	南九州市	4,858	鶏卵	829	14
6位	熊本	菊池市	4,598	豚	1,236	16
7位	熊本	八代市	4,211	野菜	3,056	19
8位	宮崎	宮崎市	3,870	野菜	1,937	22
9位	鹿児島	出水市	3,772	鶏卵	1,110	25
10位	福岡	久留米市	3,665	野菜	1,569	26

注: 市町村別農業産出額(推計)は、都道府県別農業産出額(品目別)を2025農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分し作成したものです。

資料: 農林水産省統計部「令和6年市町村別農業産出額(推計)」

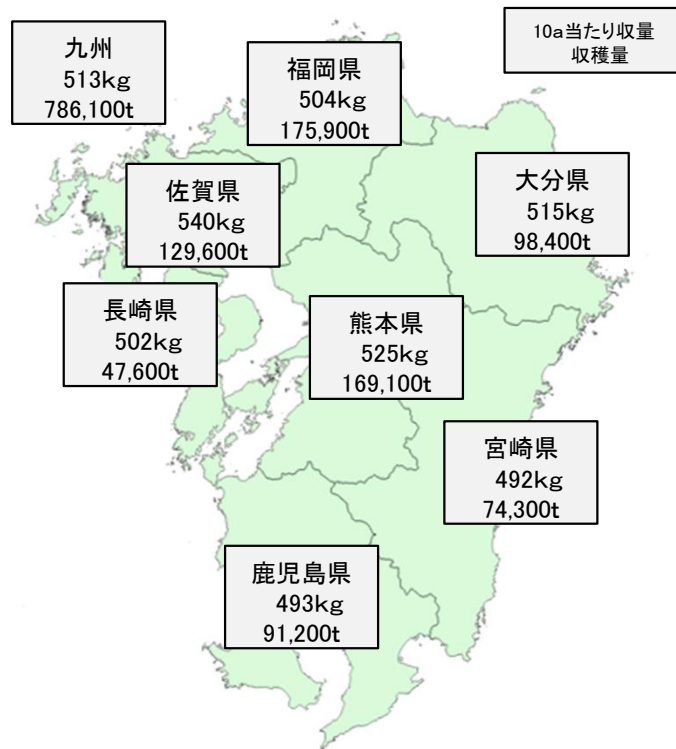
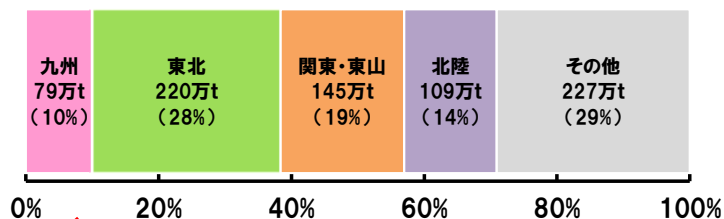


九州の農業

米の生産状況

■ 水稻の収穫量(令和7年産) ■

☆全国の収穫量は・・・779万t



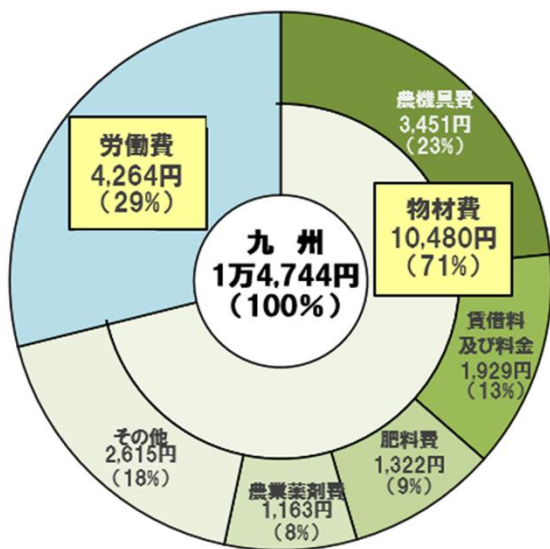
資料：農林水産省統計部「作物統計」

注：「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

注：四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合があります。

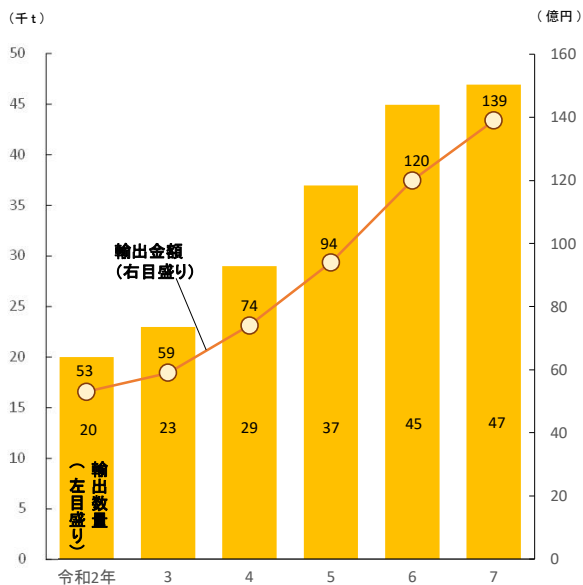
資料：農林水産省統計部「作物統計」

■ 米の60kg当たり費用合計(個別経営) ■ (令和6年産、九州)



資料：農林水産省統計部「農業経営統計調査」

■ 商業用米の輸出実績 ■



資料：財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く)

注：商業用米の輸出とは、個人的に使用するものではなく、販売等を目的とした輸出のことです。

九州の水稻の収穫量は、全国の約1割を占めており、県別にみると、福岡、熊本、佐賀の順となっています。九州の米の60kg当たり費用合計は、1万4,744円で、農機具費等の物材費が7割を占めています。



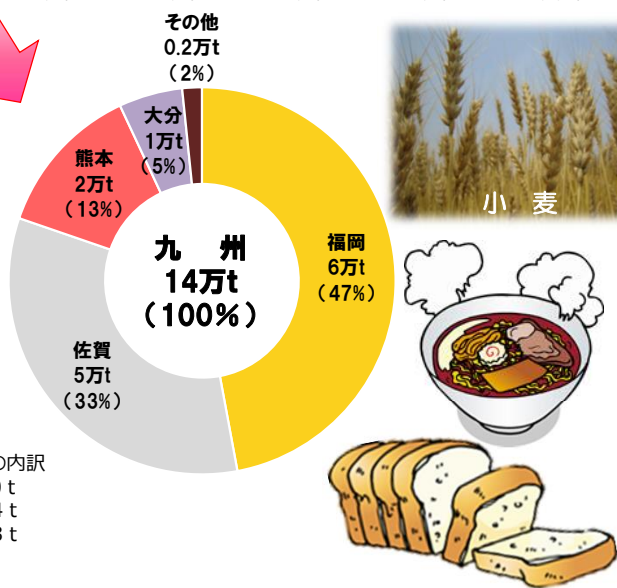
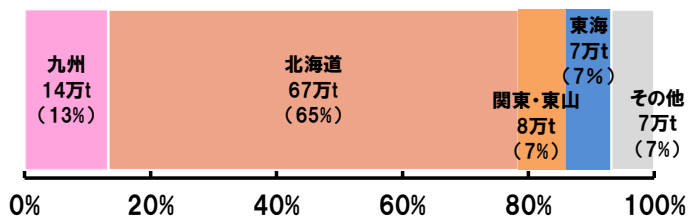


九州の農業

麦の生産状況

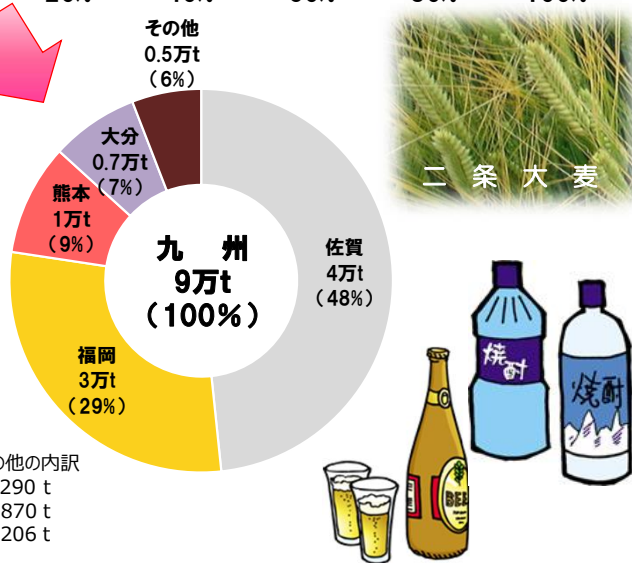
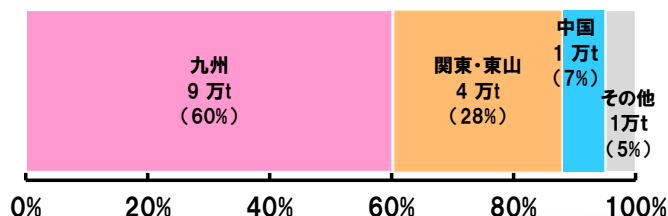
■ 小麦の収穫量(令和7年産) ■

☆全国の収穫量は・・・103万t



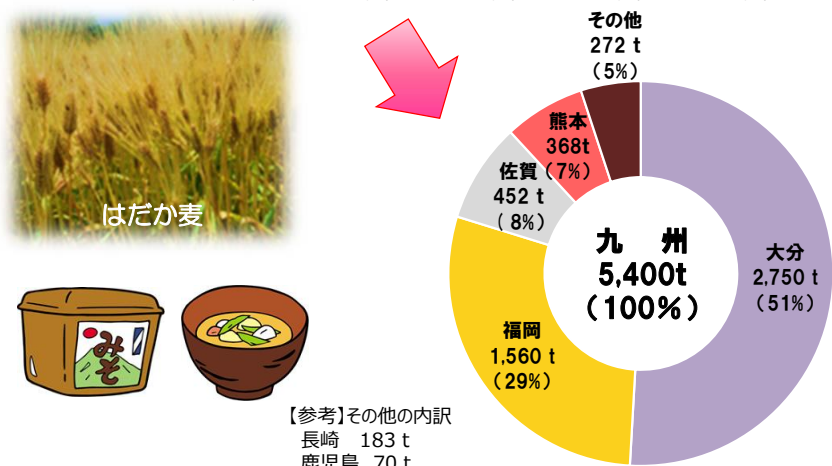
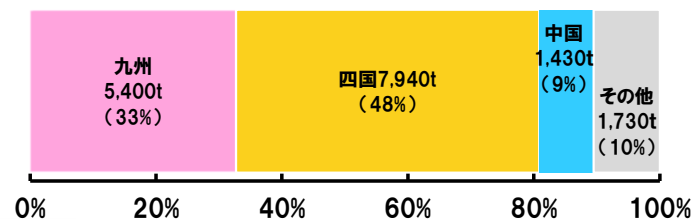
■ 二条大麦の収穫量(令和7年産) ■

☆全国の収穫量は・・・15万t



■ はだか麦の収穫量(令和7年産) ■

☆全国の収穫量は・・・1万6,500t



九州の麦の収穫量は、小麦で全国の13%、二条大麦で60%、はだか麦で33%を占めています。

県別順位をみると、小麦は福岡が全国2位、佐賀が同3位、二条大麦は佐賀が全国1位、福岡が同3位、熊本が同4位、はだか麦は大分が全国2位、福岡が同4位、佐賀が同6位となっています。



注：1 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。
2 四捨五入により内訳と計が一致しない場合があります。

資料：農林水産省統計部「作物統計」

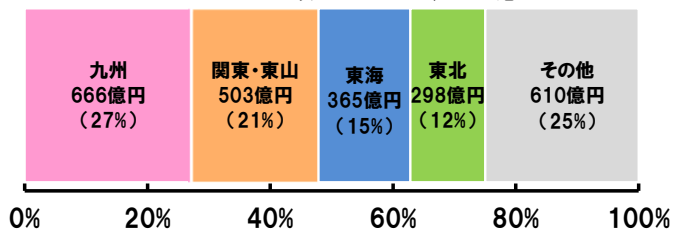


九州の農業

主な野菜の産出額

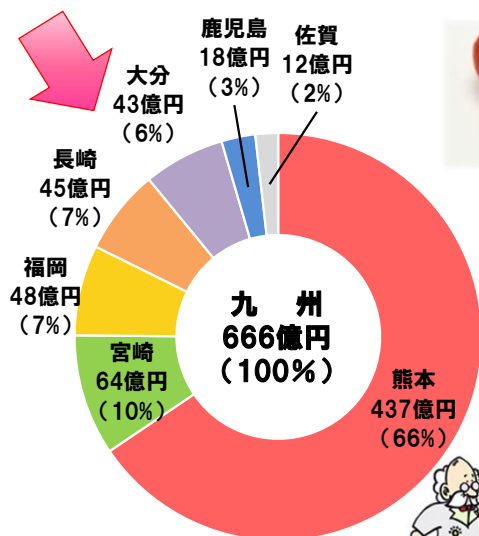
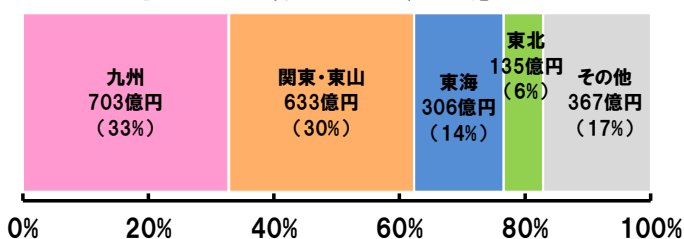
■ トマトの産出額(令和6年) ■

☆全国のトマトの産出額は・・・2,442億円

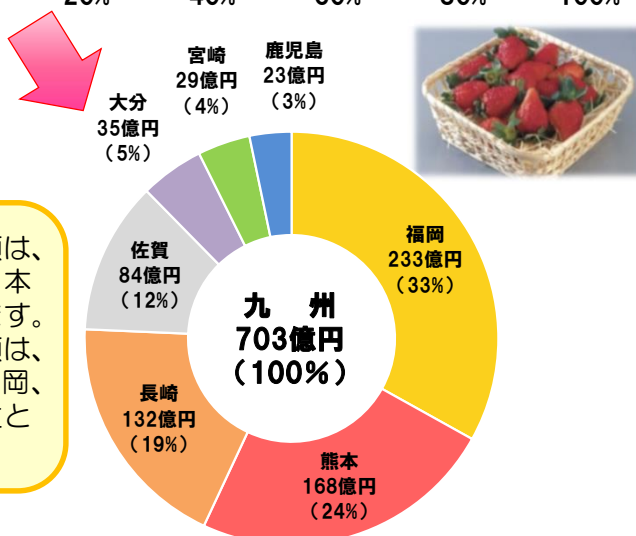


■ いちごの産出額(令和6年) ■

☆全国のいちごの産出額は・・・2,144億円

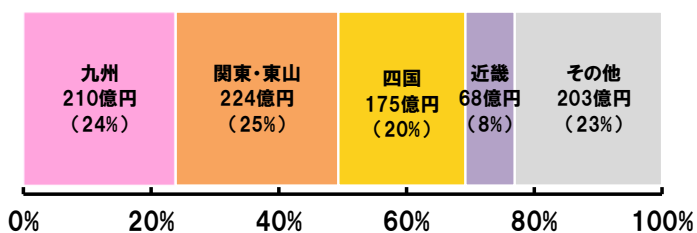


九州のトマトの産出額は、全国シェア27%で、熊本が全国1位となっています。九州のいちごの産出額は、全国シェア33%で、福岡、熊本、長崎、佐賀が上位となっています。



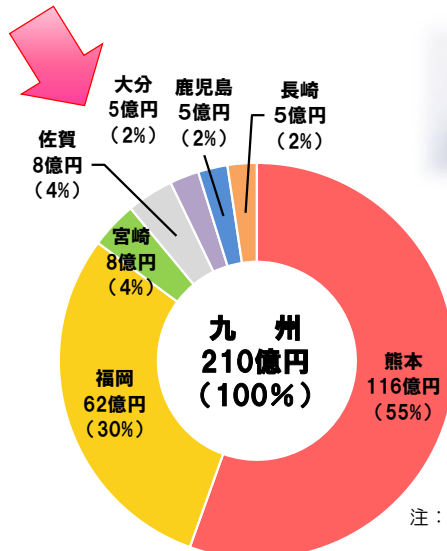
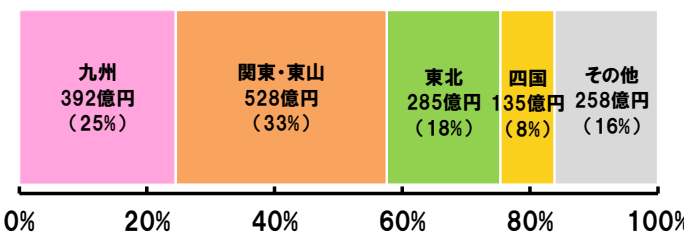
■ なすの産出額(令和6年) ■

☆全国のなすの産出額は・・・880億円

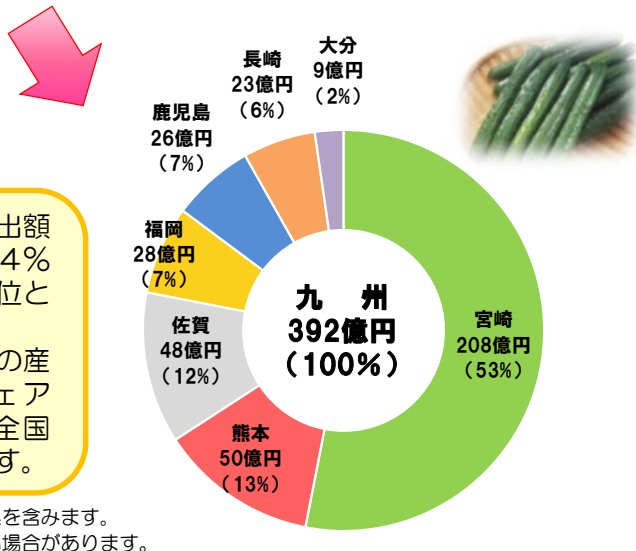


■ きゅうりの産出額(令和6年) ■

☆全国のきゅうりの産出額は・・・1,598億円



九州のなすの産出額は、全国シェア24%で、熊本は全国2位となっています。九州のきゅうりの産出額は、全国シェア25%で、宮崎が全国1位となっています。



注：1 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。
2 四捨五入により内訳と計が一致しない場合があります。

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

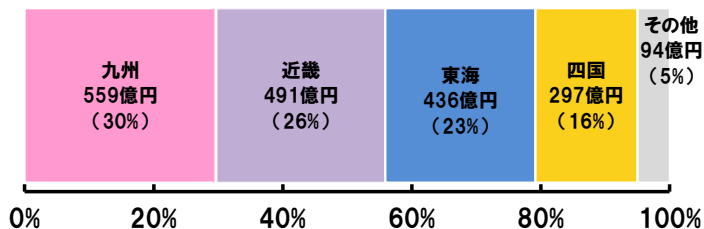


九州の農業

主な果実の産出額

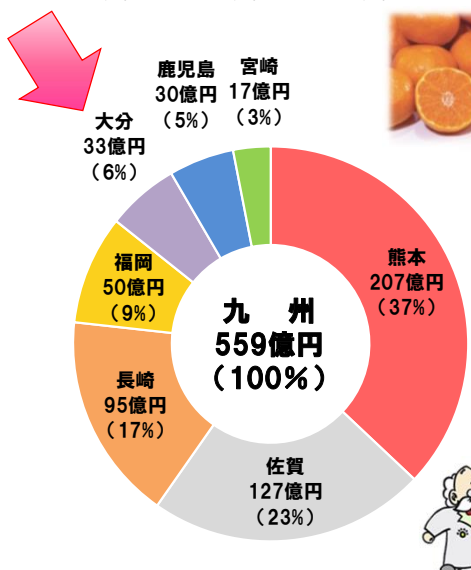
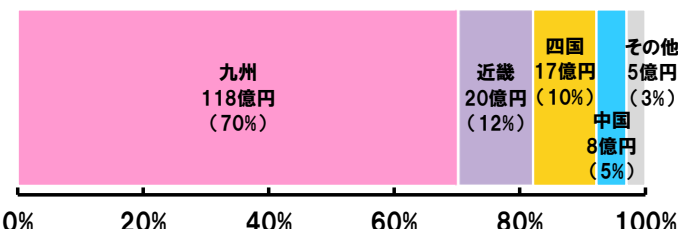
みかんの産出額(令和6年)

☆全国のみかんの産出額は・・・1,877億円



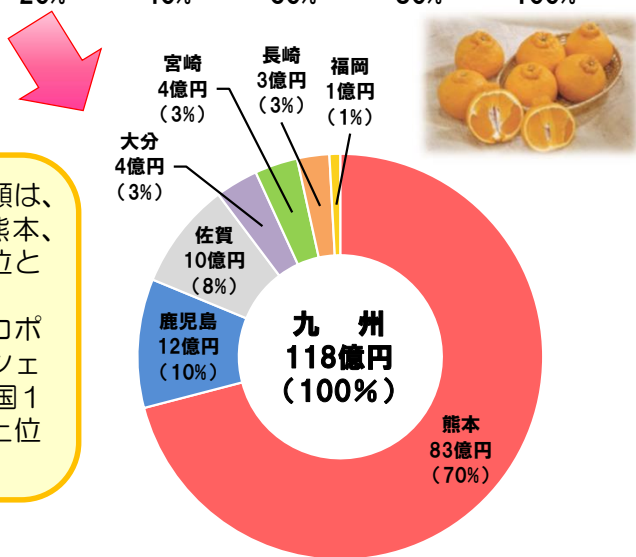
しらぬい(デコポン)の産出額(令和6年)

☆全国のしらぬい(デコポン)の産出額は・・・168億円



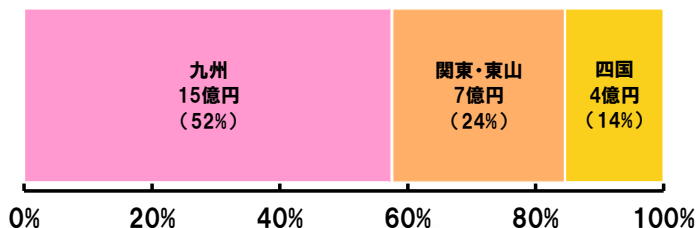
九州のみかんの産出額は、全国シェア30%で、熊本、佐賀、長崎、福岡が上位となっています。

九州のしらぬい(デコポン)の産出額は、全国シェア70%で、熊本が全国1位、その他の県も全国上位に入っています。



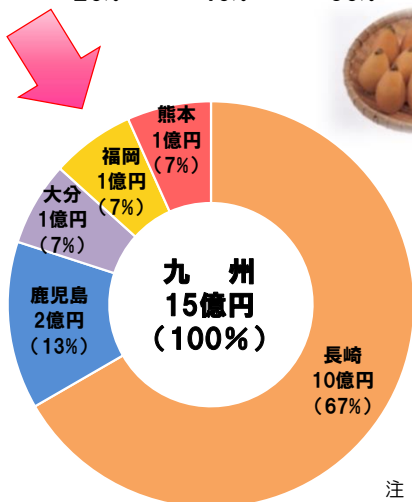
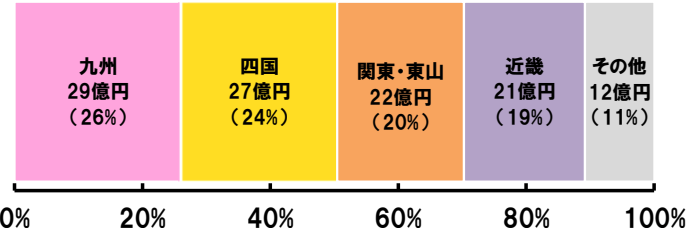
びわの産出額(令和6年)

☆全国のびわの産出額は・・・29億円



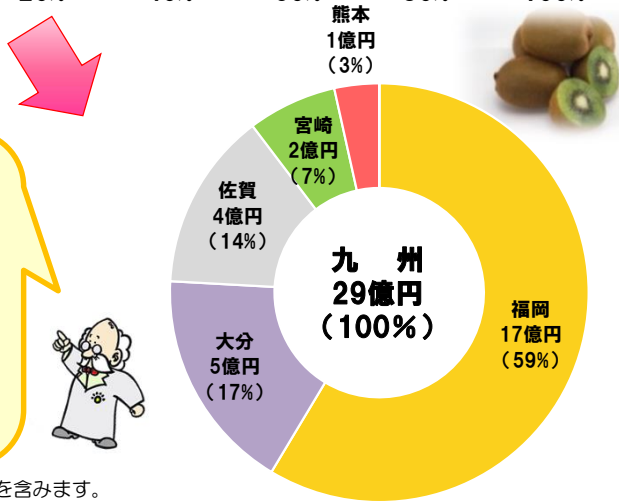
キウイフルーツの産出額(令和6年)

☆全国のキウイフルーツの産出額は・・・111億円



九州のびわの産出額は、全国シェア52%で、長崎が全国1位となっています。

九州のキウイフルーツの産出額は、全国シェア26%で、福岡が全国2位となっています。



注：1 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。
2 四捨五入により内訳と計が一致しない場合があります。

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

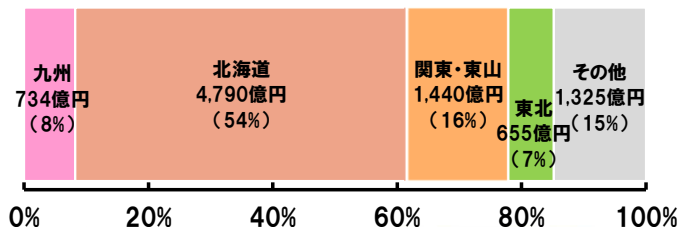


九州の農業

畜産の産出額

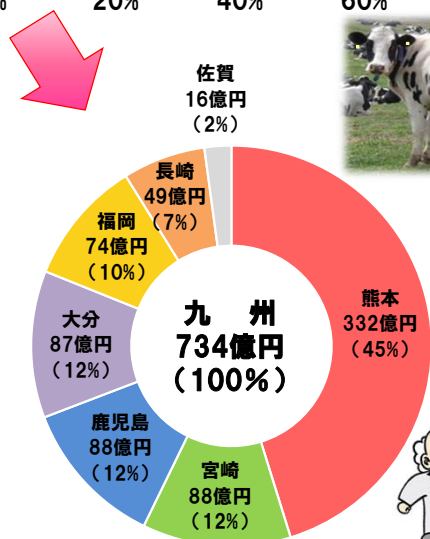
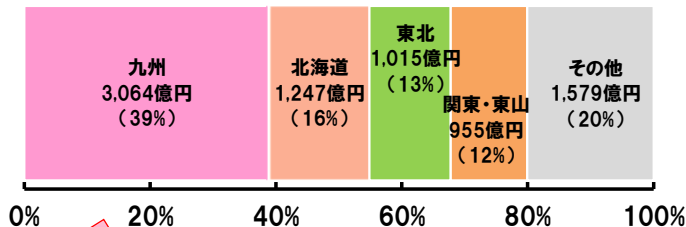
■ 生乳の産出額(令和6年) ■

☆全国の生乳の産出額は・・・8,944億円

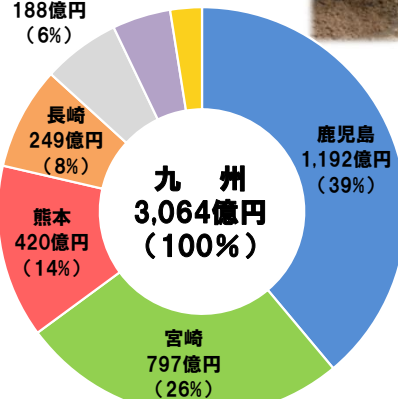


■ 肉用牛の産出額(令和6年) ■

☆全国の肉用牛の産出額は・・・7,860億円

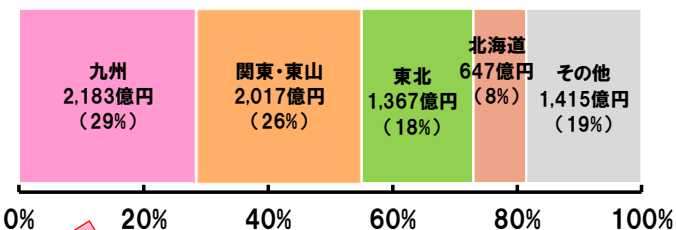


九州の生乳の産出額は、全国シェア8%で、熊本は全国3位となっています。
九州の肉用牛の産出額は全国シェア39%で、鹿児島が全国2位、宮崎が同3位となっています。



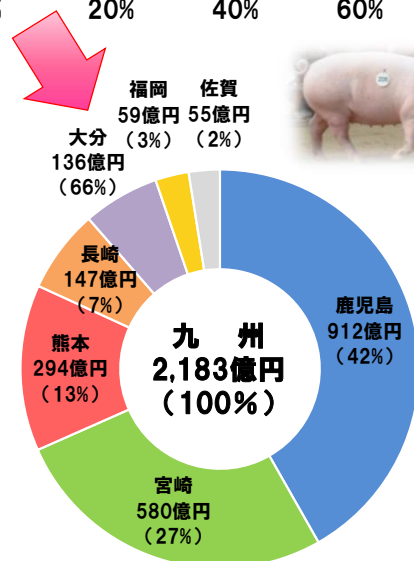
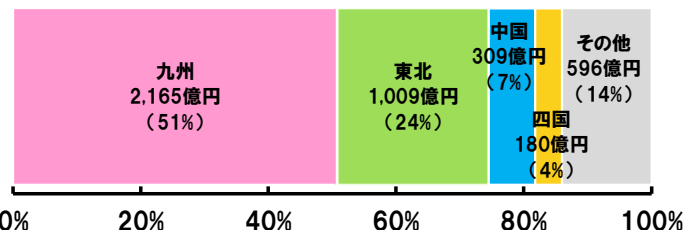
■ 豚の産出額(令和6年) ■

☆全国の豚の産出額は・・・7,629億円

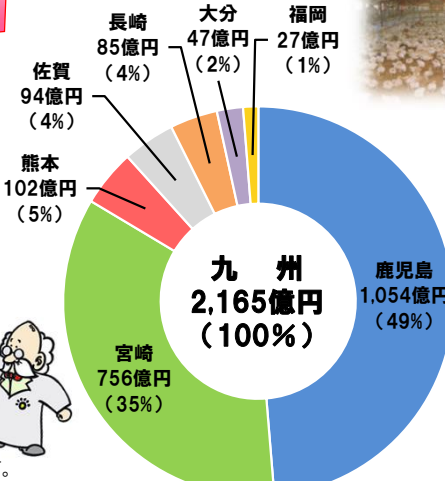
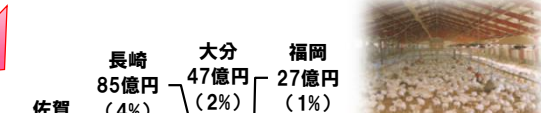


■ ブロイラーの産出額(令和6年) ■

☆全国のブロイラーの産出額は・・・4,259億円



九州の豚の産出額は、全国シェア29%で、鹿児島が全国1位、宮崎が同3位となっています。
九州のブロイラーの産出額は全国シェア51%で、鹿児島が全国1位、宮崎が同2位となっています。



注：1 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。
2 四捨五入により内訳と計が一致しない場合があります。

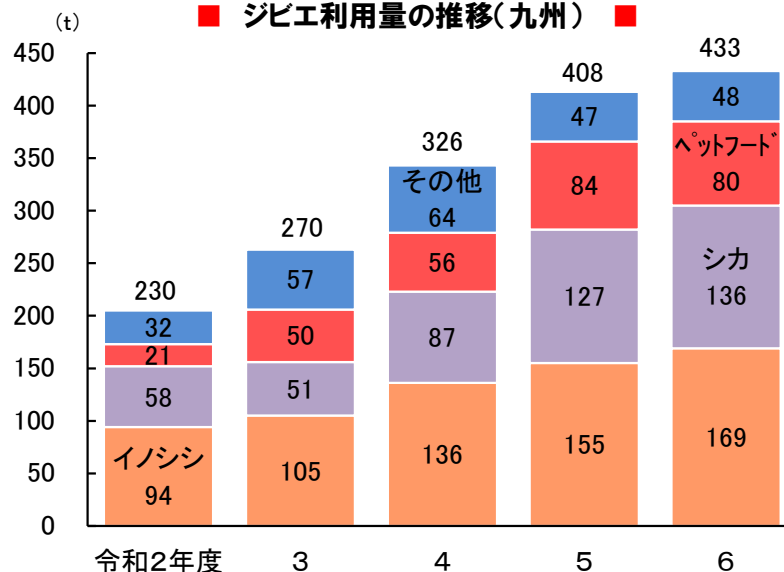
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



九州の ジビエ

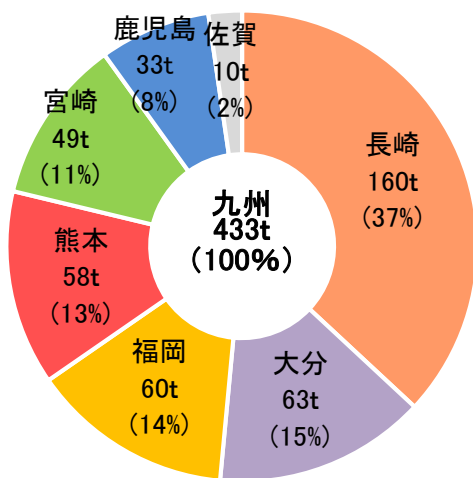
ジビエ（野生鳥獣肉）

■ ジビエ利用量の推移(九州) ■



資料：『野生鳥獣資源利用実態調査』（農林水産省）
注：シカ、イノシシは食肉の内訳を記載したものです。

■ ジビエ利用量(令和6年度、九州) ■



資料：『野生鳥獣資源利用実態調査』（農林水産省）
注：四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合があります。

ジビエとは

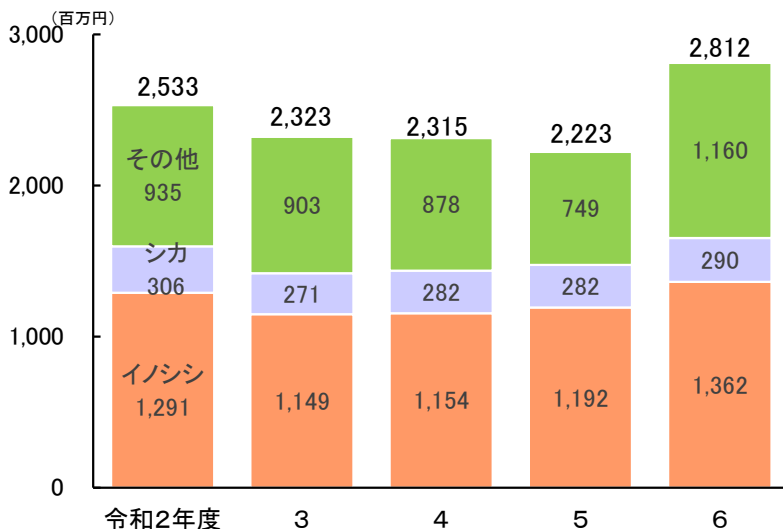
食材となる野生鳥獣肉をいいます。

（フランス語（gibier））

近年、野生鳥獣による農作物被害（令和6年度被害金額：28億1千万円）の対策として、捕獲した鳥獣のジビエ料理等の利用拡大が図られています。

令和6年度のジビエ利用量（九州）は433tで前年に比べ6.1%増加しました。内訳をみると食肉としての利用が増加しています。

■ 野生鳥獣による農作物被害金額(九州) ■



資料：『野生鳥獣による都道府県別農作物被害状況』（農林水産省）



イノシシ肉のカイエット

- ボールにカイエットの中身の材料を全て入れ混ぜ合わせる。（春巻きの皮以外）120gにはかり、成形し、戻した春巻きの皮で包む。ボールにバターを入れ、バターソースの材料を入れ混ぜ合わせラップに入れ、ロール状に巻き、冷蔵庫で冷やし固める。
- フライパンを温めて、油を引いてカイエット生地を焼いていく。両面しっかり焼き色をつける。水を適量入れ蒸し焼きにして中までしっかり火を入れる。
- 冷やし固めたバターを5mmくらいにスライスし、カイエットの上に乗せる。魚焼きグリルなどでバターを焼き溶かす。器にカイエット、季節の野菜などを盛り付けて完成。

※ ジビエを安全に食べるために、調理の際は必ず中心部まで火が通るようにしっかり加熱してください。

レシピ：農林水産省【クックパッド】<https://cookpad.com/recipe/4370898>

材料（4人分）

■ カイエット

イノシシ肉のミンチ 400g
卵 1個
パン粉(牛乳でふやかしておく) 40g
牛乳 20cc
オニオンソテー(玉ねぎをみじん切りにしてフライパンでソテーして冷ましておく) 100g
にんにくおろし 5g
プランター 少々
春巻きの皮(水でふやかしておく) 4枚
塩コショウ 適量

■ バターソース

無塩バター(常温に戻しておく) 100g
ケチャップ 20g
パセリみじん切り 少々
カレー粉 10g
塩コショウ 適量
ウスターソース 10cc

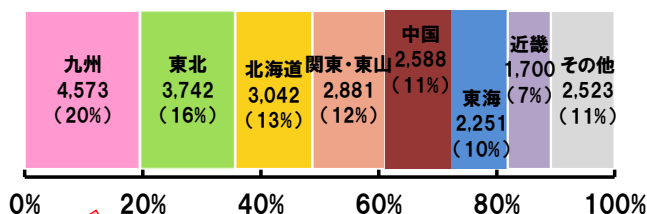


九州の 林業

林業の概要

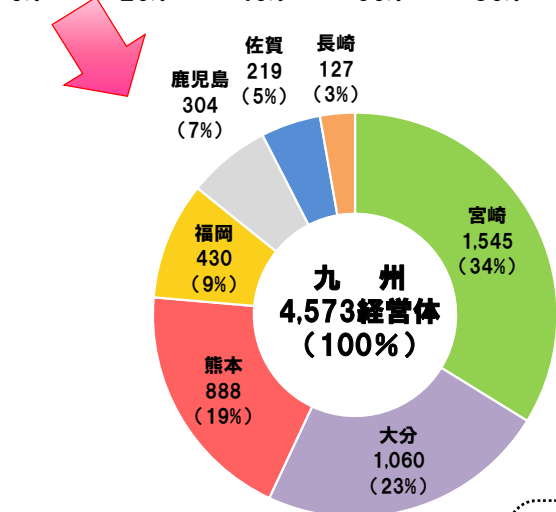
■ 全国の林業経営体数(令和7年) ■

☆全国の林業経営体数は・・・ 23,300経営体

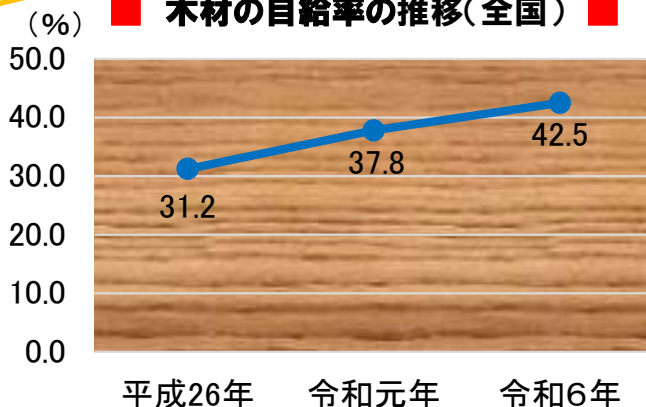


令和7年の九州の林業経営体数は4,573経営体で全国の20%のシェアとなっており、令和2年に比べ1,477経営体(24%)減少しています。一方で、団体経営体の占める割合は、19.9%となっており、令和2年に比べ3.2ポイント増加しています。

令和6年の林業産出額は964億円で、令和元年に比べて17億円(2%)増加しています。



■ 木材の自給率の推移(全国) ■



資料：林野庁「木材需給表」

林業経営体：林産物の生産を行うか又は委託を受けて林業作業を行い、生産又は作業に係る面積が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

(1) 保有山林面積規模が3ha以上の林業

(2) 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業

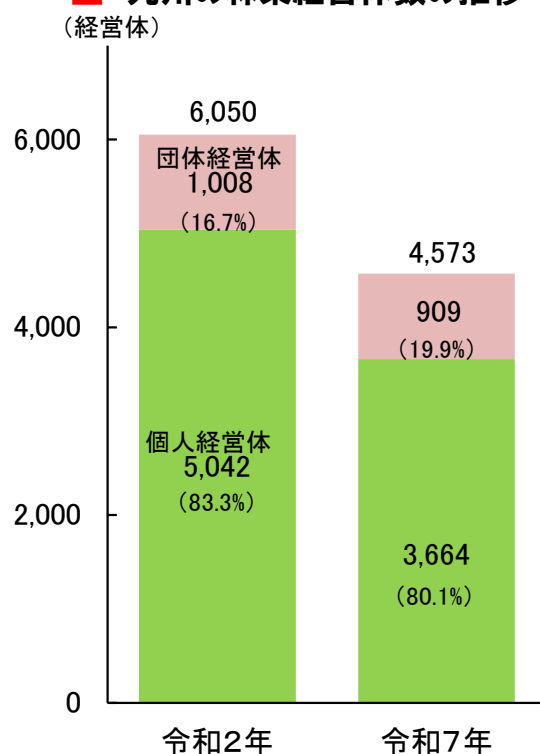
個人経営体：個人(世帯)で事業を行う経営体をいう。なお、法人化して事業を行う経営体は含まない。

団体経営体：個人経営体以外の経営体をいう。

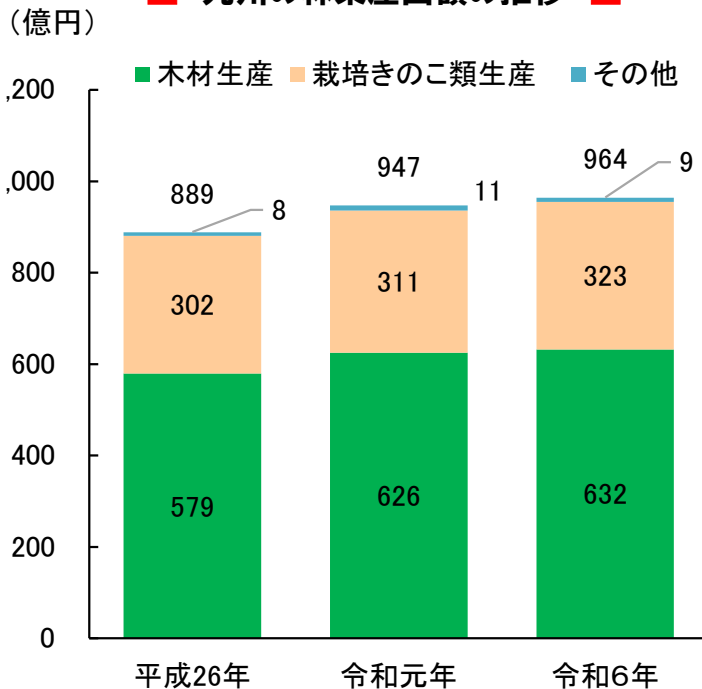
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

注：1 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。
2 四捨五入により内訳と計が一致しない場合があります。

■ 九州の林業経営体数の推移 ■



■ 九州の林業産出額の推移 ■



資料：農林水産省統計部「林業産出額」

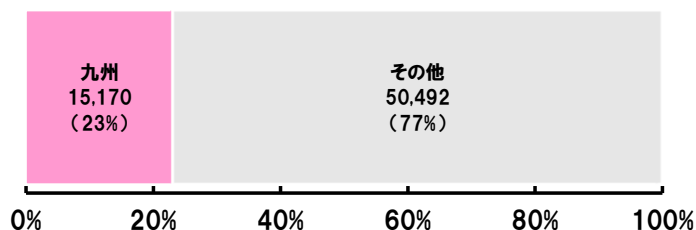


九州の漁業

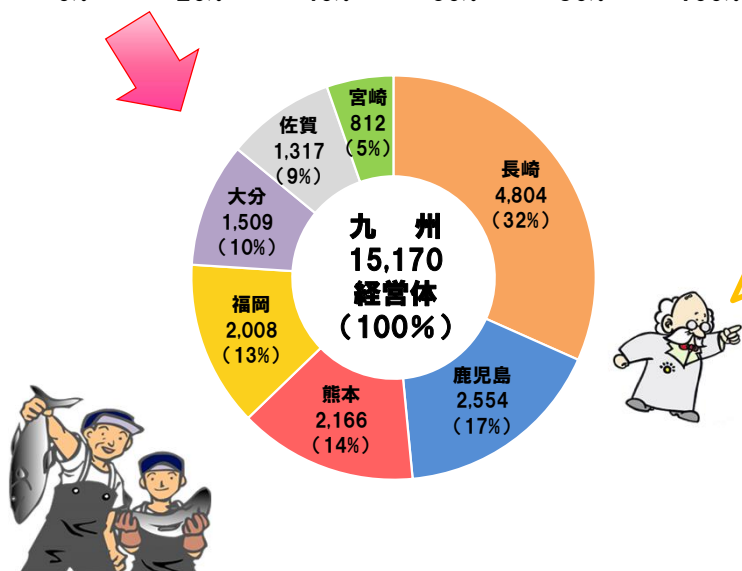
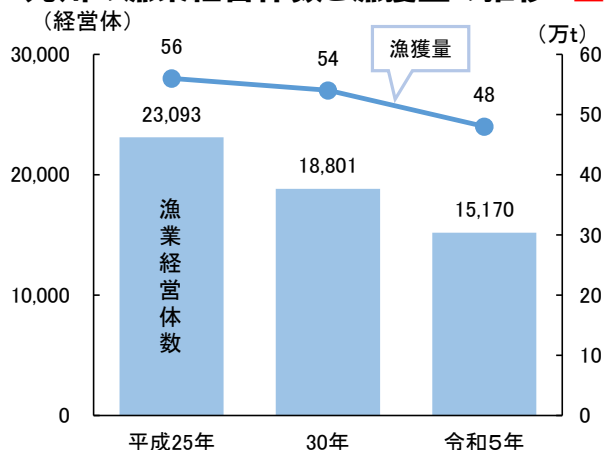
漁業の概要

■ 全国の漁業経営体数(令和5年) ■

☆全国の漁業経営体数は・・・65,662経営体



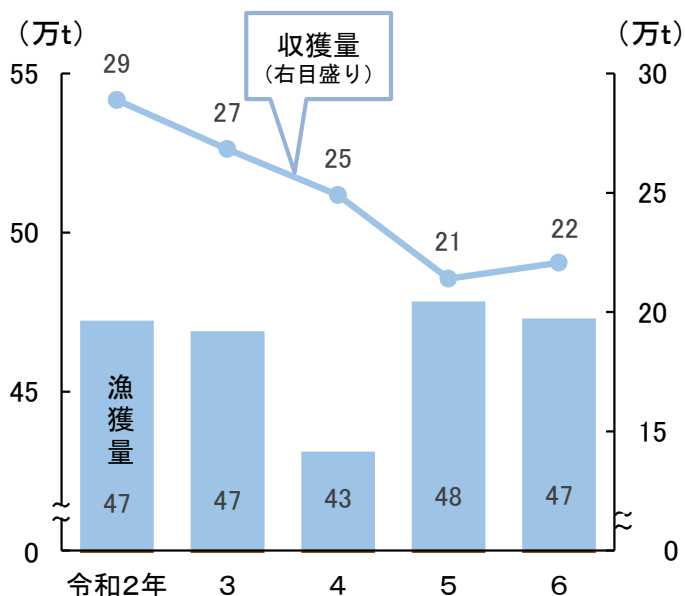
■ 九州の漁業経営体数と漁獲量の推移 ■



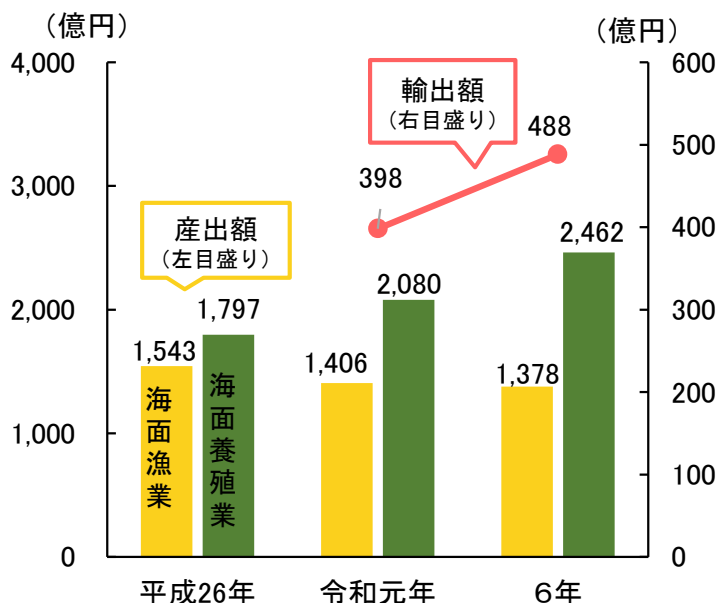
九州の漁業経営体数は1万5,170経営体で、全国の23%のシェアとなっています。
九州では、長崎が一番多く、次いで鹿児島、熊本の順となっています。
漁業経営体数は10年前に比べ減少し、漁獲量も減少したことから、海面漁業産出額は減少していますが、海面養殖業の産出額、水産物輸出額は増加しています。

漁業経営体: 過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所。

■ 九州の海面漁業漁獲量及び海面養殖業収獲量の推移 ■



■ 九州の漁業産出額と水産物輸出額の推移 ■

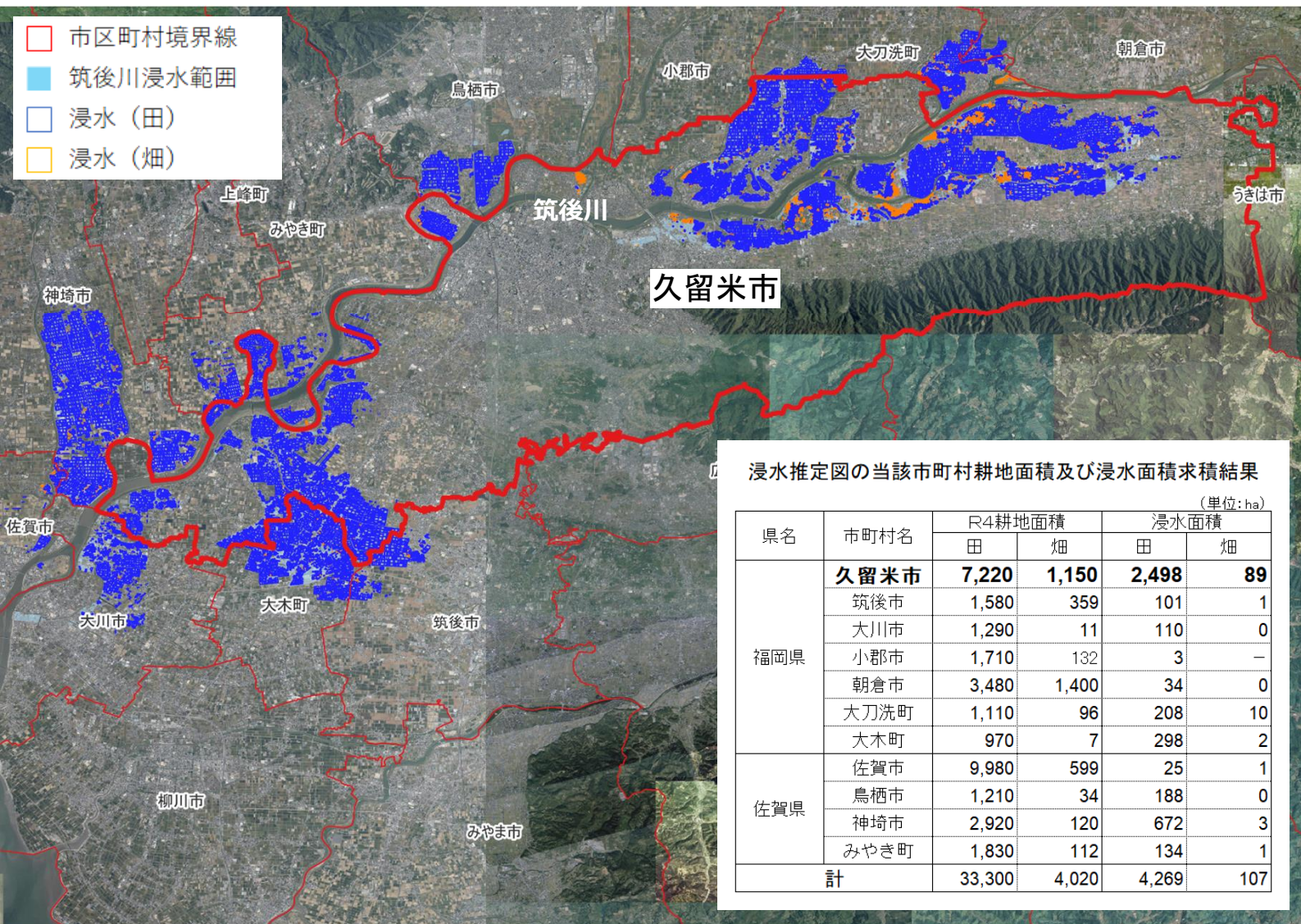


資料：農林水産省統計部「漁業センサス」、「漁業産出額」、「漁業・養殖業生産統計」、
「見たい！知りたい！九州農業2025」（財務省貿易統計より九州地域の港等からの輸出額を九州農政局で集計）



近年、九州では線状降水帯や台風等の発生に伴い、河川の氾濫による農地等の浸水がみられますが、QGISと農林水産省公表データ（地域の農業を見て・知って・活かすDB、筆ポリゴン）等を用いて浸水した田・畑の求積が行えます。

筑後川流域農地の浸水状況（令和5年6月～7月10日までの大雨）



出典：国土地理院ウェブサイト（令和5年(2023年)6月29日からの大雨に関する情報 | 国土地理院 (gsi.go.jp)）
国土地理院の「地理院タイル」及び「浸水範囲の輪郭線」を加工して作成（縮尺：1/90,000）

<地域の農業を見て・知って・活かすDBとは>

農業集落（全国約15万）を単位として、農林業センサスの結果と各種情報とを組み合わせて農林水産省が独自に加工・再編成したデータを提供するものです。地域農業の現状をグラフや地図で見える化することや、国勢調査や行政情報と組み合わせて分析することができます。

活かすDBの利用方法や掲載データ等についてはこちらから

URL：https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html



<QGISとは>

無償で利用できる「地理情報システム」のソフトウェアで、パソコンで空間情報を作成・保存・利用・管理・表示・検索等をおこなうことができます。

<筆ポリゴンとは>

GIS（地理情報システム）ソフトウェア等において利用可能な農地の区画情報データです。



九州農政局では、統計情報の利活用推進のため、「農林水産統計パネル」を作成しています。

このパネルは、農林漁家、流通加工業者、農林水産業関係団体の方々にご協力いただきました農林水産統計調査の結果について、グラフや地図などを用いて表したものです。

なお、展示用パネル（日本産業規格A1の大きさ）は、貸出も行っています。ご利用を希望される場合は、下記窓口までお問合せください。

【お問合せ先】

九州農政局統計部統計企画課

〒860-8527

熊本市西区春日2丁目10番1号

熊本地方合同庁舎A棟

電話：096-211-9111（内線4923）